

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年3月18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	生活介護と過ごす時間は、手狭を感じるが工夫をしている	児童が充分に活動できるスペースを確保する必要がある
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		各職員の業務を明確にし、対応している	配置人数で、業務が滞りなく行なえるようにしていく
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	構造化が必要な利用者は現在いないが、落ち込んでいる環境を提供できるように工夫している	必要時には、特性に応じた配慮ができるようにしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		可能な限りそのように配慮している	利用者の状況に合わせ常に対応して行く
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	個別部屋はないが、プライバシー観点で個別に対応できるよう空間作りに配慮している	個別部屋はないが、空間作りが出来るよう位置取りなどを考慮する
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	4	業務に追われている感覚が強く、そこまで到達しておらず、十分といえない	PDCAサイクルの理解と周知に努め、振り返りをしながら実施していく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価内容を情報共有している	意向に沿う支援を継続して行う
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	意見などを把握する機会はあるが、業務改善につながらない場合が多いと感じる	日々振り返りを通して改善に努めていく
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	無記入1 実際どのように行なわれているのか不明	把握していない意見があった為、今後周知していく必要がある
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内だけでなく、外部研修や講習などに参加している	今後も積極的に参加をしていく
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成済み 公表予定	改善点がないかなど日々目を向けていく
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者の状況やご家族も含めた意向を主に作成している	職員間の周知や理解も含め、継続して行っていく
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		作成時には、意見などを情報共有している	個別支援会議を行い検討していく
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	声掛けを行ってはいるが、情報共有するまでには至っていない	計画書作成後、職員間で回覧し、情報共有できるようする
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		そこまで至っていないのが現状	日々研鑽できるように取り組むようにする
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	無記入1 5領域を含む計画書の作成をし、支援を行っている	今後も継続してより良い支援が出来るようにしていく
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	活動プログラムの立案をチームで情報共有している活動内容を立案、実際の方法などは職員間で意見を出し合っている	常に情報共有できるように、職員間の意識の共有を図っていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	固定化をしないように工夫するが、時と場合によっては固定化している マンネリ化を感じる時がある	例えば創作や音楽活動等、大きな括りは同じだが、実際の取り組み方で相違工夫をし、目的を持ったプログラムを立案していく

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		その時の状況に応じた見合った計画になるようしている	今後も継続してより良い支援が出来るようにしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		今日何をするのか、携わる職員間では情報共できている	今後も継続して、様々な意見を取り入れ、支援していく様にする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	カンファレンスや一日の終わりに集会を設けている	今後も継続してより良い支援が出来るようにしていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		職員間で情報共有している	職員間で情報共有し、意見を出し合いより良い支援が出来るようにしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		実施している	職員間でも情報交換が出来るようにしていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		実施している	職員間でも情報共有し見直し、検討していく
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	自己決定をする支援は難しい 障害の特性に応じて、選択肢の示し方が分かりやすくなるように工夫している	利用者の特性を熟知し、活かせるように、職員間でも情報共有していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		情報収取を行い、職員間でも共有している	常に新しい情報を取り入れ、参画できるように留意していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保険、医療はご家族と情報共有をしている 外部との連携は留意はしているが、機会があまりなく難しい時がある	難しいが可能な限りしていくよう努めていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に、学校とも情報共有をするようにしている	情報共有できるよう関係作りにも配慮していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	無記入1 機会があれば積極的に取り組む	対象者があれば積極的に取り組んでいく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		積極的に担当者会議に参加している	会議などにも参加して、情報共有していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	無記入1 機会があまりない	機会があれば積極的に取り組んでいく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7	送迎時に、学校とも情報共有をするようにしている 他の施設間交流の機会はない	情報共有を図っていく 機会があれば積極的に参加していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	無記入1 不十分	機会があれば積極的に参加していく 参加後は、職員間で情報共有する
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や送迎時にご家族と連携を取るようにしている	意識をして積極的に取り組んでいく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	不十分 家族会を行っている 時間調整が難しく個別には行っていない	積極的にそのような機会を設けていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	不十分 家族会を行っている 時間調整が難しく個別には行っていない	丁寧に説明していくように留意していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		全意向までは行かないが、出来る限り行っている 送迎時に設けている	今後も継続していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		送迎時や連絡帳を通して行っている	今後も積極的に声掛けをして信頼しておただけるようにしていく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	送迎時等に、家族と情報共有できるように心がけている そのような機会はあまりない	声掛けをしながら、意向があれば積極的に行っていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		法人内の行事や家族会の機会を設けている	今後も継続していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速な対応に努めている	今後も継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		連絡帳や送迎時に情報共有、ブログを毎月更新している	今後も継続していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		留意している	今後も継続していく
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		留意している	今後も継続していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		そのような機会はあまりない 外気浴時に会われた方に挨拶する程度	ドライブや外出の機会を通して、社会交流を図れるよう努める 外気浴は積極的に行っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	無記入 1 マニュアル整備と家族等への周知に関して不十分な部分がある	ご家族にも情報発信していく あらゆる場面を想定しての訓練をしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCPに即した訓練を行なっている 動画視聴を行い、防災教育を行っている	今後も継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		確認し状況の把握はしている 職員の情報共有が大切	職員間の情報共有を常に行っていく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		ご家族からの情報に基づいて食事提供している	常に確認する（食札に記載） 職員間で情報共有していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画を職員がいつでも閲覧できるようにし、熟知出来るようにしている	職員一人一人の理解が必要であり重要と考える為、今後も継続する
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	不十分	ご家族との時間共有できる機会を提供していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの案件があまりない 小さなきずきでも毎日振り返りを行っている	小さなことでも情報共有していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		無記入 1 直接職員に声掛けをしての確認や、毎月1回の委員会会議後、事例などを通して説明を行っている	話やすい環境作りに留意していく
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		実施している 職員間でも情報周知している	モニタリングを行い必要性の有無を検討しながら、今後も継続していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人更生慈仁会コスモス
------	-----------------

公表日 2025年3月18日

利用児童数 2025年3月18日現在 9名

回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					空間を利用して居場所の確保をしている
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1	見学したことがない為、詳細は不明	家族会の開催やブログに職員紹介などを掲載している
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					ワンフロアであるが、スペース作りに留意している
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					今後も職員のスキルアップを図っていく
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					ご本人、ご家族や他関係機関との連携を図り、情報共有していく
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					PDCAサイクルをしっかりと機能させていく（職員間でも周知が必要）
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1				同じようなことを行っているようだが、違った視点や目的で行うよう工夫している
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	1		3	仕事が休めず参加できない	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	2				送迎時や連絡帳にて情報共有している 今後は適宜面談の機会を設ける必要があると考えている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		1	仕事が休めず参加できない	法人内の行事等も積極的に声掛けをしていく
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	7				メールでのやりとり、作品の持ち帰りで活動内容がわかる	ブログ掲載している 連絡帳に記載するなどして積極的に発信していく
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	3		1		今後そのような機会を設ける検討をしていく
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6			1		ブログや面談などを通して発信していく
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3		3		今後そのような機会を設ける検討をしていく
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1				話やすい環境作りや関係の構築を図っていく

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	7					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	3		2	見ていない	ブログ更新時に情報が伝えられようとする
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		3		家族会やブログを通して発信していく
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		3		毎月1回訓練を行なっている
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1				今後もご家族への迅速な連絡、説明対応を徹底していく
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	7					安心して通っていただけるよう、支援内容を充実する
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					楽しみにしていただける場になるように、ニーズ把握、アセスメントを繰り返し、探っていく
	29 事業所の支援に満足していますか。	7					満足度が低下しないように今後も、ご本人ご家族、各関係機関との情報共有に努めて個別支援と集団支援に反映させていく